

南部町・南部川村

「合併まちづくりに関するアンケート」
報告書

平成 15 年 3 月

南部町・南部川合併協議会

報告書の見方

- 各集計の構成比は百分率で表し、四捨五入して小数点以下第2位までで表示しているため、合計が100%にならない場合がある。
- 未回答、誤回答は集計の際、母数から除いて処理しているため、回答者全数と一致しない。
- グラフ中の $N = \times \times \times$ は構成比を表示する際の母数を示す。
- 設問の終わりにある MA は複数回答(あてはまるもの2つまで をつけてください等)の質問形式であることを示す。
- 図表中及び文章中、選択肢などを一部省略して表記している場合がある。
- 年代別集計において10歳代を表示しているが、母数が27人と小さいため、参考として扱い、分析には含めていない。

目 次

(1) アンケート調査の概要	1
(2) 回答者属性	4
(3) まちの現状	6
(4) 町村合併と将来のまちづくり	8

(1) アンケート調査の概要

調査の目的

本アンケート調査は、地域の現状（まちづくりの到達点）及び新町の基本理念、政策施策、プロジェクトなどに対する住民の認識やニーズを把握し、新町建設計画策定の基礎資料とすることを目的とする。

調査対象

南部町、南部川村に在住の18歳以上の住民（平成14年12月1日現在）から無作為に選び出した。抽出率は20%で対象者数は2,406人である。

表 町村別抽出数

	抽出数（人）
南部町	1,340
南部川村	1,066
合計	2,406

調査方法

アンケートは平成15年1月14日に郵送で発送し、締め切りを1月27日として、郵送回収した。催促は行っていない。

アンケートの回収状況は平成15年2月28日現在で下表に示すとおりであり、全体の有効回収率は58.2%となった。

表 アンケート回収の状況

	南部町	南部川村	不明	合計	備考
配布数	1,340	1,066		2,406	
有効回収数	720	668	12	1,400	回収した票数から無効票（無回答など）を除いたもの
回収率	53.7%	62.7%		58.2%	有効回収数÷有効配布数

調査結果の要旨

道路、交通利便性を除きまちの現状に対する不満の声は少ない

まちの現状評価は、全般的に不満と評価する意見が少ない。評価が高かったのは、地域全体では、「福祉サービス」、「健康・医療」、「住宅環境」といった項目であり、「道路の整備」、「バス、鉄道等交通の利便性」の評価は低い。「道路の整備」は地域差があり、南部川村で不満とする意見が多い。

期待は「行政の効率化」、不安は「中心地域と周辺地域の格差」

合併の効果を訪ねると多くの方が「行政の効率化」に期待を寄せているが、一方では「特にない」とする意見も多い。

合併に対する不安は「町、村の区域が広くなり、行政サービスが低下する」が最も多いが、次いで多いのは「特にない」である。

地域の将来イメージは「日本一の梅の里」「豊かな自然を育むまち」

地域の将来イメージについては、「日本一の梅の里」が圧倒的に多く、「豊かな自然を育むまち」「小さくてもキラリと光る」が続いている。

地域の自慢は7割以上の方が「南高梅や備長炭などの特産物」と答えている。

まちの将来の方向は「生活環境が整ったまち」「保健・福祉のまち」「自然環境を大切に にするまち」

「まちづくり・人づくりで将来どのようになっていけばよいと思いますか」という将来の方向性に関する設問に対しては、「道路、バス・鉄道、公園、上下水道などの生活環境が整ったまち」「健康づくりや子供・お年寄りなどを大切にする保健・福祉のまち」「緑豊かな自然環境を大切にするまち」があげられている。

将来方向の第1位に生活環境があげられているのは、地域の現状で、「道路の整備」「バス、鉄道等交通の利便性」の不満が高いことが反映されていると考えられる。

第2位の「保健・福祉」は、現状評価で不満とする意見は低いものの、今後の少子高齢の進展が生活に実感されてきたことの現れと予測される。

第3位にあげられた「緑豊かな自然環境を大切にするまち」は、地域の将来イメージの「豊かな自然を育むまち」と一致している。

産業振興の方針は「梅は堅実に」「漁業は南部ブランド」「商業は消費者の利便性向上」「備長炭は市場拡充」

新町の基幹的な産業の振興方策については、うめ産業は「これまでの産業のスタイルを変えず堅実にブランドを守る」、漁業は「水産物の加工、特産品の開発、南部ブランドを確立する」、商業は「商店街の環境改善などにより消費者の利便性の向上をはかる」、林業は「備長炭や林産物などの市場拡充や、流通・販売体制の強化を図る」を重視すべきという回答が得られた。

豊かな自然環境は官民協働で守っていく

地域の将来イメージで「豊かな自然を育むまち」があげられたが、具体的な実現方策については「海・山・川の豊かな自然環境の保全を官民協働で進めていく」が重要であるという回答が得られた。

インターチェンジ周辺は「優良農地」「商業」「緑地」の3案

インターチェンジ周辺の土地利用への期待は「現状の土地利用を保全し、優良農地として活用する」「商業地域として土地利用を図る」「緑地ゾーンとする」の3案である。

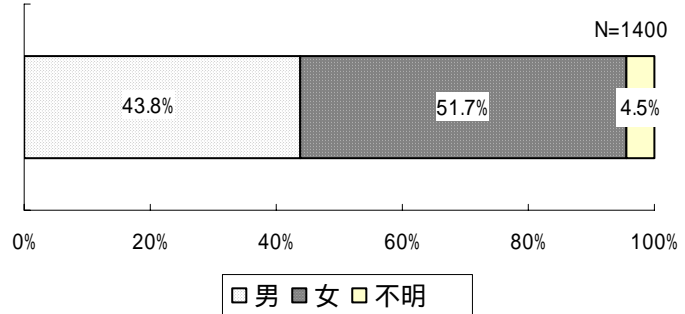
まちづくりへの関わり方

今後のまちづくりへの関わり方については「広報誌やパンフレット、インターネットなどでまちづくりの動きを知る」「アンケートなどに回答する」が多い。

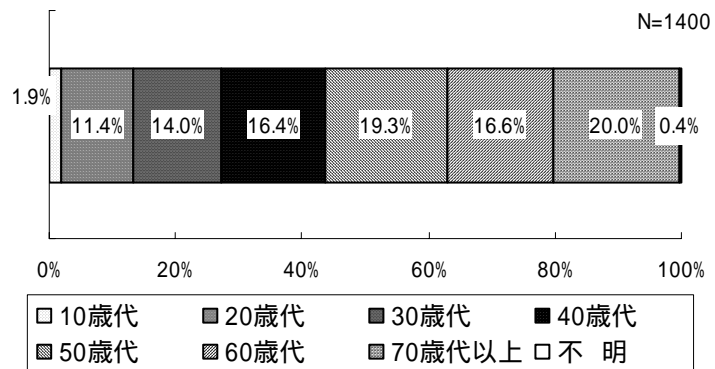
(2) 回答者属性

本アンケートの回答者の属性は以下に示すとおりである。

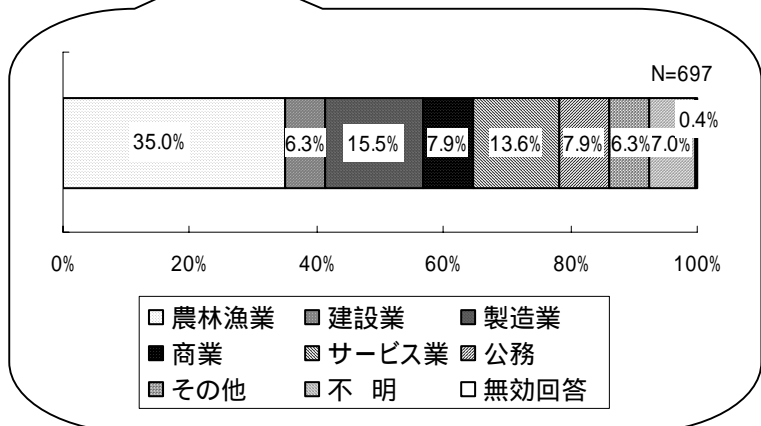
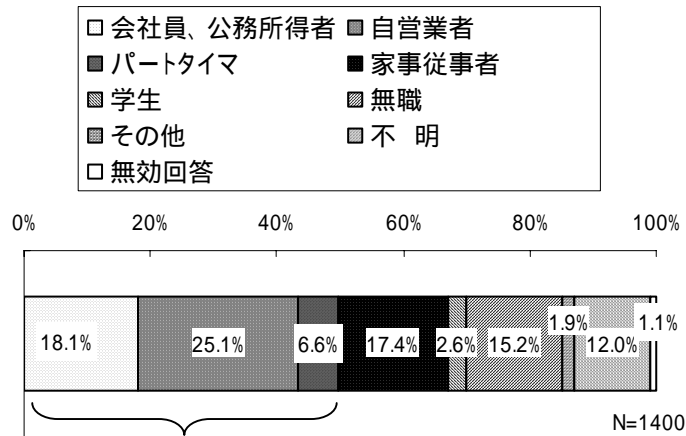
問1 あなたの性別



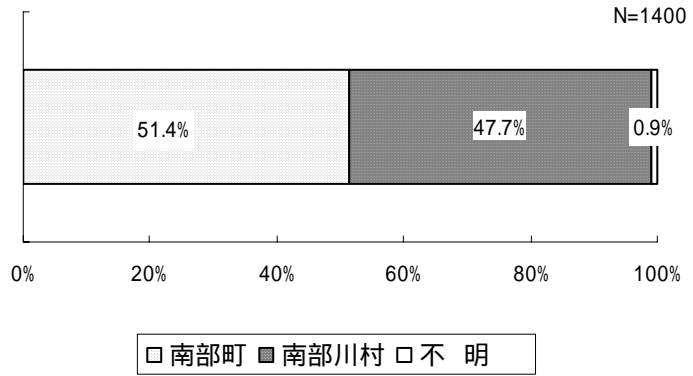
問2 あなたの年齢



問3 あなたの職業は



問4 あなたの住まい



問5 あなた、またはあなたの世帯の主たる行動範囲はどこですか。

南部町	南部町	南部川村	御坊市・ 印南町	田辺市	その他	回答者数
働いている場所	80.7%	4.0%	1.6%	9.9%	3.8%	679
食料品の買い物	88.6%	0.1%	0.9%	9.4%	0.9%	678
日用雑貨や衣料品の買い物	36.9%	0.0%	0.7%	61.2%	1.2%	680
おしゃれ着、装飾品、貴金属等の買い物	12.0%	0.2%	1.4%	74.5%	11.9%	656
電化製品や家具等大型商品の買い物	36.4%	0.0%	1.0%	60.2%	2.3%	681
レストラン等での飲食	18.9%	0.0%	1.3%	78.5%	1.3%	634
診療	68.8%	3.3%	1.4%	24.5%	2.0%	660
文化・スポーツ行動	68.7%	0.9%	1.7%	25.9%	2.9%	588
娯楽・教養	19.6%	0.0%	0.8%	75.6%	4.0%	606

南部川村	南部町	南部川村	御坊市・ 印南町	田辺市	その他	回答者数
働いている場所	9.6%	78.6%	1.3%	7.4%	3.1%	637
食料品の買い物	45.6%	42.1%	0.2%	11.0%	1.2%	599
日用雑貨や衣料品の買い物	20.7%	5.9%	0.5%	71.3%	1.6%	628
おしゃれ着、装飾品、貴金属等の買い物	7.2%	2.0%	0.7%	83.2%	7.0%	600
電化製品や家具等大型商品の買い物	16.7%	8.1%	1.1%	72.0%	2.0%	615
レストラン等での飲食	11.3%	0.9%	0.7%	85.2%	2.0%	586
診療	23.8%	56.5%	0.7%	18.4%	0.7%	609
文化・スポーツ行動	3.7%	77.5%	1.3%	15.1%	2.4%	543
娯楽・教養	2.5%	16.9%	1.1%	76.1%	3.4%	556

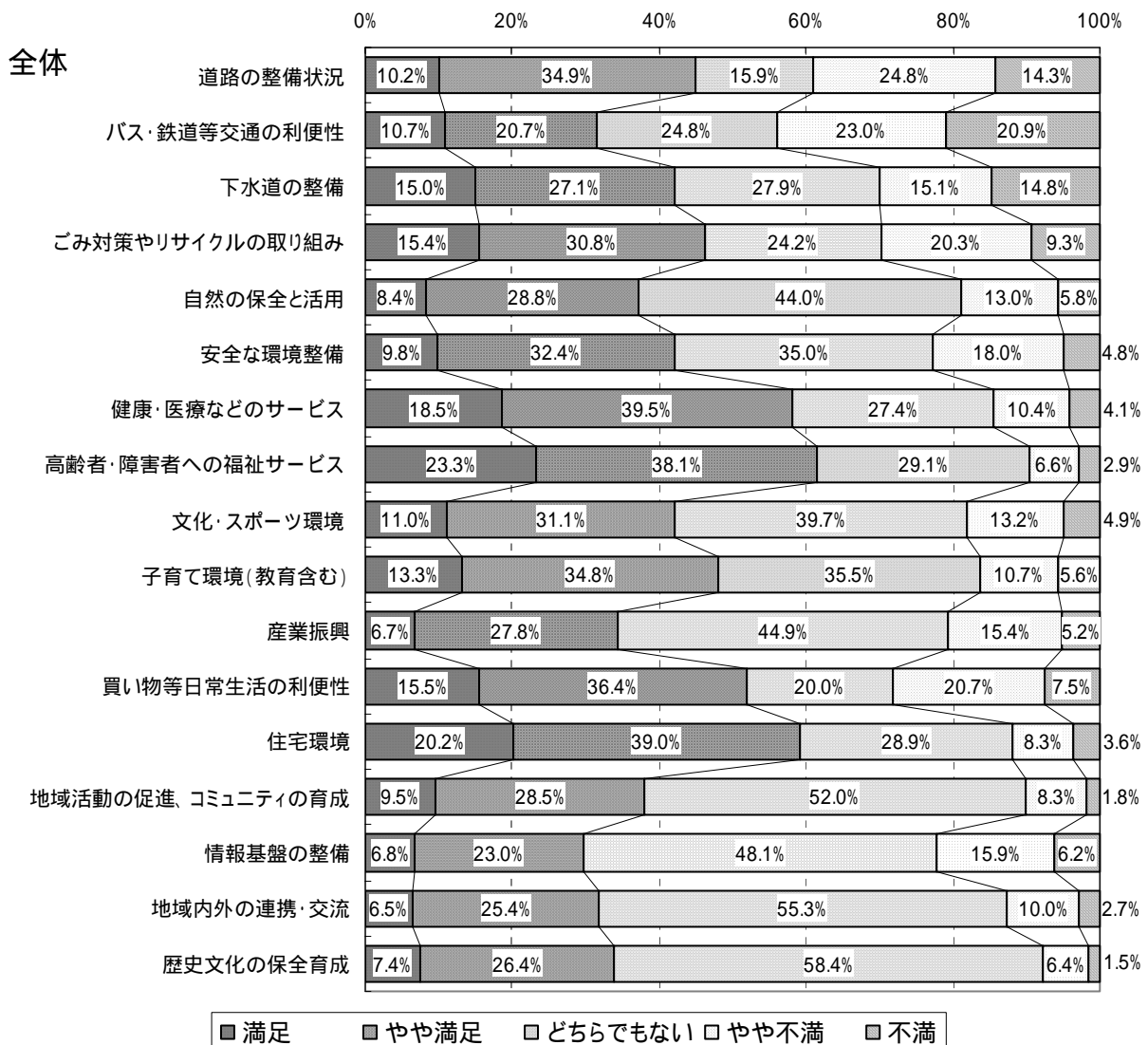
第1位 第2位

(3) まちの現状

問6 あなたの住むまちの現状をどのように評価しますか。

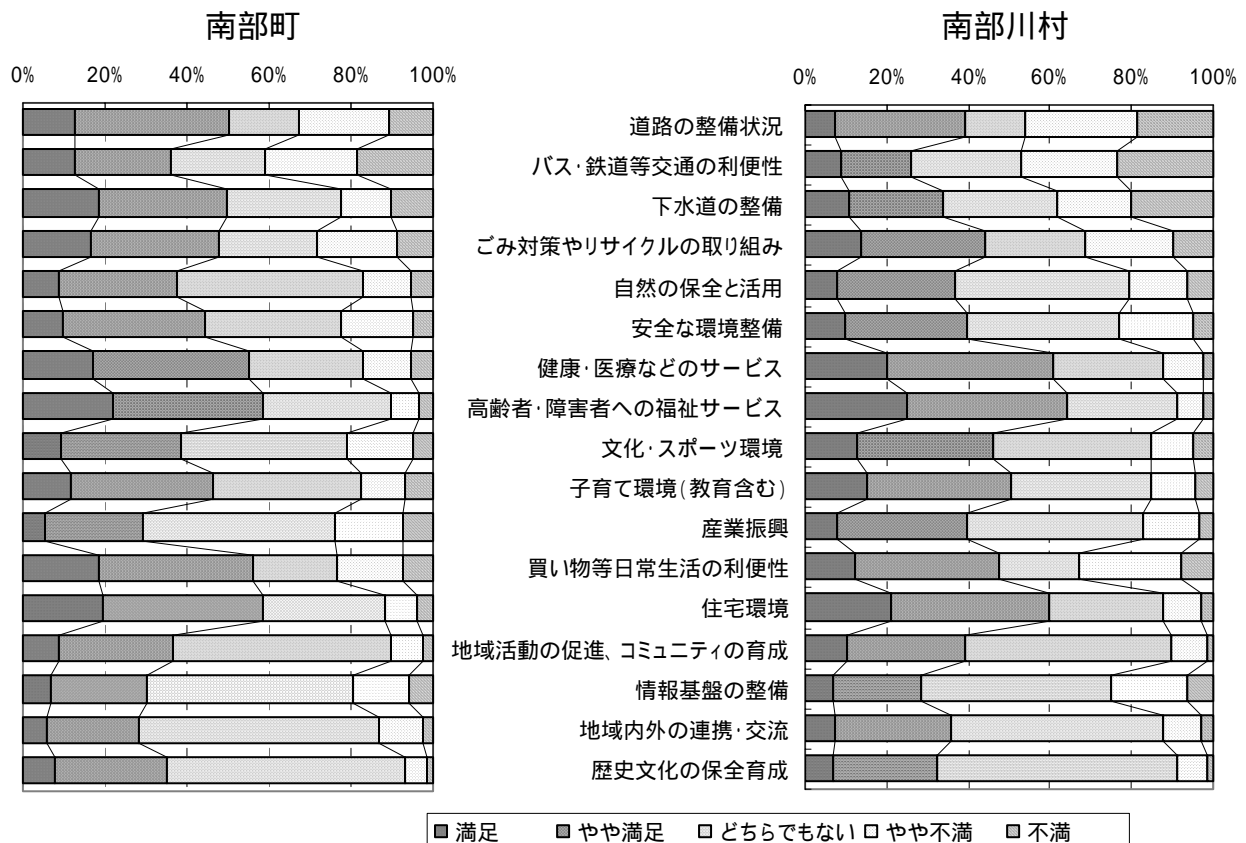
「満足」と「やや満足」(どちらかという満足)と答えた項目の上位、及び「不満」と「やや不満」(どちらかという不満)と答えた項目の上位はそれぞれ下表に示すとおりである。「どちらかという不満」とする上位項目の「ごみ対策やりサイクルの取り組み」と「買い物等日常生活の利便性」は「どちらかという満足」とする上位項目にもみられる。これはまちの現状に対する評価が全般的に高く、「どちらかという不満」の上位であっても、評価は低くないためである。

	どちらかという満足		どちらかという不満
(8)高齢者・障害者への福祉サービス	61.4%	(2)バス・鉄道等交通の利便性	43.8%
(13)住宅環境	59.2%	(1)道路の整備状況	39.1%
(7)健康・医療などのサービス	58.0%	(3)下水道の整備	29.9%
(12)買い物等日常生活の利便性	51.8%	(4)ごみ対策やりサイクルの取り組み	29.6%
(10)子育て環境(教育含む)	48.1%	(12)買い物等日常生活の利便性	28.2%



下表は「どちらかという満足」と「どちらかという不満」及びこれらの差を、「どちらかという不満」の高い項目から並べたものである。「不満」が高い項目は、概ね、「満足」と「不満」の差が大きい、中にはその差が小さいものも見られる。「不満」の割合が高く、「満足」と「不満」の差が大きい項目は、地域全体で「不満」と評価され、差が小さい項目は地域で評価が異なると考えられる。そのような項目として(1)道路、(3)情報基盤があげられる。道路について町村別の評価を見ると、南部町で評価が高く、南部川村で低い。また、情報基盤は、南部川村で不満とする意見が若干多い。

	どちらかという満足		どちらかという不満		-
(2)バス・鉄道等交通の利便性	419	31.4%	584	43.8%	-12.4%
(1)道路の整備状況	585	45.1%	507	39.1%	6.0%
(3)下水道の整備	552	42.2%	392	29.9%	12.2%
(4)ごみ対策やリサイクルの取り組み	621	46.2%	398	29.6%	16.6%
(12)買い物等日常生活の利便性	694	51.8%	377	28.2%	23.7%
(6)安全な環境整備	557	42.2%	302	22.9%	19.3%
(15)情報基盤の整備	377	29.8%	280	22.1%	7.7%
(11)産業振興	430	34.5%	257	20.6%	13.9%
(5)自然の保全と活用	475	37.2%	240	18.8%	18.4%
(9)文化・スポーツ環境	540	42.2%	232	18.1%	24.0%
(10)子育て環境(教育含む)	616	48.1%	209	16.3%	31.8%
(7)健康・医療などのサービス	774	58.0%	194	14.5%	43.5%
(16)地域内外の連携・交流	407	31.9%	163	12.8%	19.1%
(13)住宅環境	775	59.2%	156	11.9%	47.3%
(14)地域活動の促進、コミュニティの育成	489	37.9%	130	10.1%	27.9%
(8)高齢者・障害者への福祉サービス	818	61.4%	126	9.5%	52.0%
(17)歴史文化の保全育成	430	33.8%	100	7.9%	25.9%



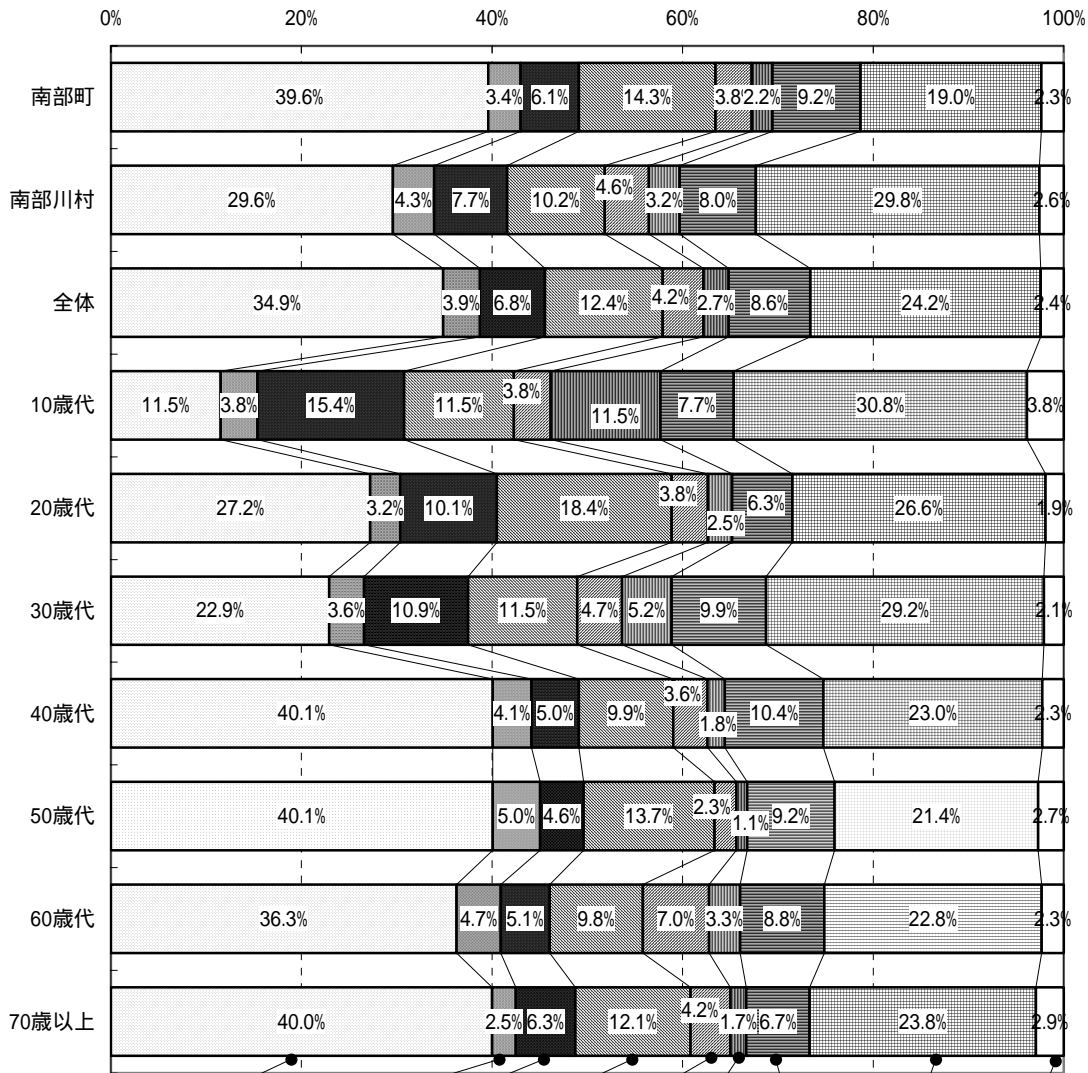
(4) 町村合併と将来のまちづくり

問7 合併についてどのような効果を期待されますか。

全体で最も多い回答は、「南部町、南部川村で重複している費用が削減でき、行政の効率化が図られる」であり35%を占めている。次いで多いのは「特にない」であり、合併がなにももたらさないとする意見も無視できない。

町村別では、南部川村が「特にない」が最多意見である。

年代別に見ると、40歳代以上で「重複している費用の削減」が多く、30歳代以下では「特にない」が多い。



	南部町、南部川村で重複している費用が削減でき、行政の効率化が図られる	各分野に充実した担当職員をおくことができる	より充実した施設整備ができるようになる	南部町、南部川村の地域資源を生かした観光などの産業振興ができるようになる	合併を機会に地域の知名度が上がり、まちのイメージが高まる	少子高齢化や過疎化により人口が減ることへの不安に対応できる	財政の基盤が大きくなるので重点的な投資が可能となり地域的課題に対応できる	特にない	その他	回答者数
南部町	39.6%	3.4%	6.1%	14.3%	3.8%	2.2%	9.2%	19.0%	2.3%	684
南部川村	29.6%	4.3%	7.7%	10.2%	4.6%	3.2%	8.0%	29.8%	2.6%	625
全体	34.9%	3.9%	6.8%	12.4%	4.2%	2.7%	8.6%	24.2%	2.4%	1319
10歳代	11.5%	3.8%	15.4%	11.5%	3.8%	11.5%	7.7%	30.8%	3.8%	26
20歳代	27.2%	3.2%	10.1%	18.4%	3.8%	2.5%	6.3%	26.6%	1.9%	158
30歳代	22.9%	3.6%	10.9%	11.5%	4.7%	5.2%	9.9%	29.2%	2.1%	192
40歳代	40.1%	4.1%	5.0%	9.9%	3.6%	1.8%	10.4%	23.0%	2.3%	222
50歳代	40.1%	5.0%	4.6%	13.7%	2.3%	1.1%	9.2%	21.4%	2.7%	262
60歳代	36.3%	4.7%	5.1%	9.8%	7.0%	3.3%	8.8%	22.8%	2.3%	215
70歳以上	40.0%	2.5%	6.3%	12.1%	4.2%	1.7%	6.7%	23.8%	2.9%	240

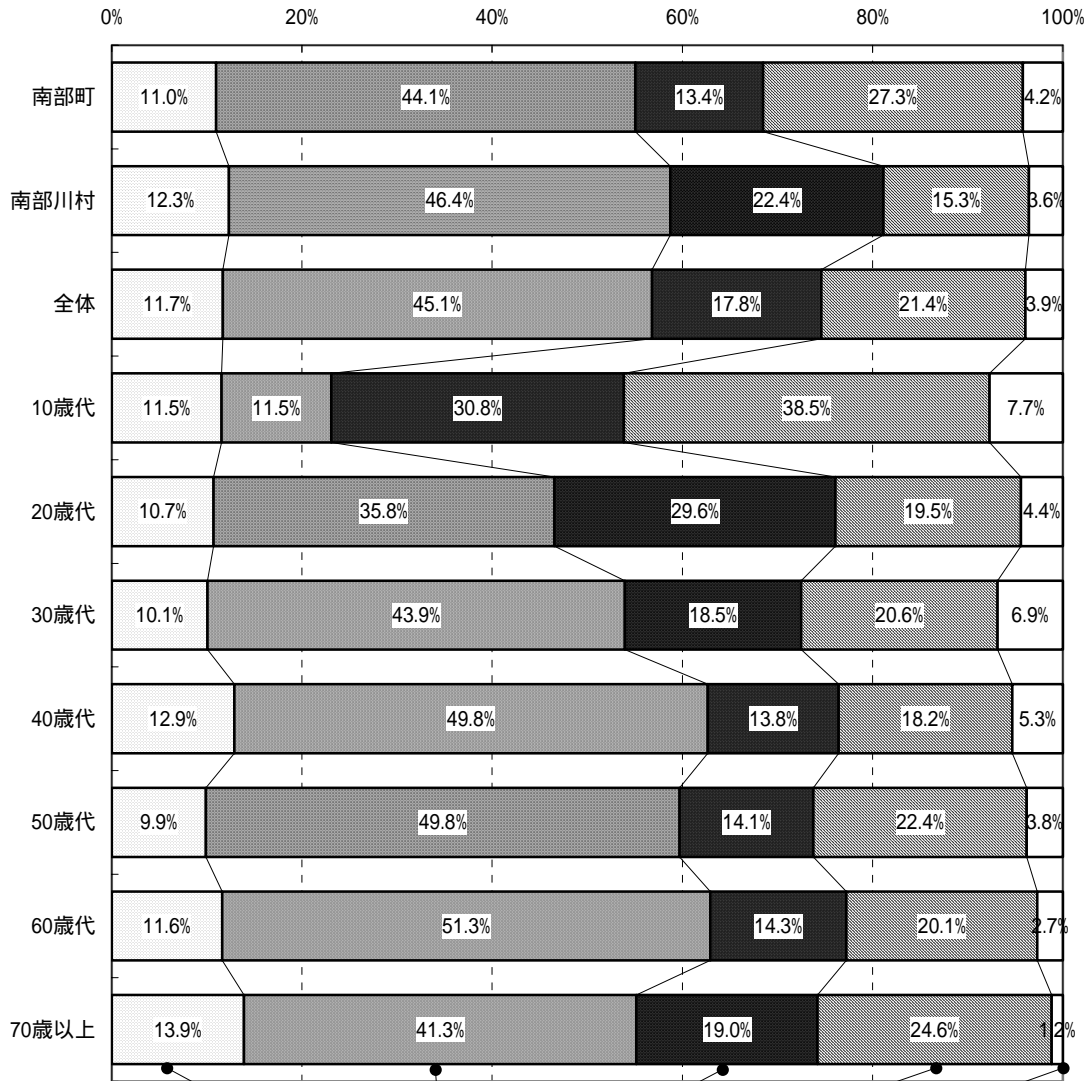
1位 2位 3位

問8 合併についてどのようなことを不安に思われますか。

全体で最も多い回答は、「町、村の区域が広くなり、行政サービスが低下する」で45%を占めている。次いで「特にない」が21%、「南部町、南部川村の名称がなくなるかもしれないので寂しい」が18%と続いている。

町村別にみると、最も多い意見は全体と同じ「町、村の区域が広くなり、行政サービスが低下する」であるが、南部川村では第2位が「南部町、南部川村の名称がなくなるかもしれないので寂しい」となっている。

年代別に見ると、全ての年代を通して「町、村の区域が広くなり、住民サービスが低下する」が第1位であるが、年代が低いほどその割合は低くなる。「南部町、南部川村の名称がなくなるかもしれないので寂しい」は20歳代が他の年代に比べて高く、第2位である。



	議員の数が減少することにより、住民の意思が行政に反映されにくくなる	町、村の区域が広くなり、住民サービスが低下する	南部町、南部川村の名称がなくなるかもしれないので寂しい	特にない	その他	回答者数
南部町	11.0%	44.1%	13.4%	27.3%	4.2%	692
南部川村	12.3%	46.4%	22.4%	15.3%	3.6%	642
全体	11.7%	45.1%	17.8%	21.4%	3.9%	1343
10歳代	11.5%	11.5%	30.8%	38.5%	7.7%	26
20歳代	10.7%	35.8%	29.6%	19.5%	4.4%	159
30歳代	10.1%	43.9%	18.5%	20.6%	6.9%	189
40歳代	12.9%	49.8%	13.8%	18.2%	5.3%	225
50歳代	9.9%	49.8%	14.1%	22.4%	3.8%	263
60歳代	11.6%	51.3%	14.3%	20.1%	2.7%	224
70歳以上	13.9%	41.3%	19.0%	24.6%	1.2%	252

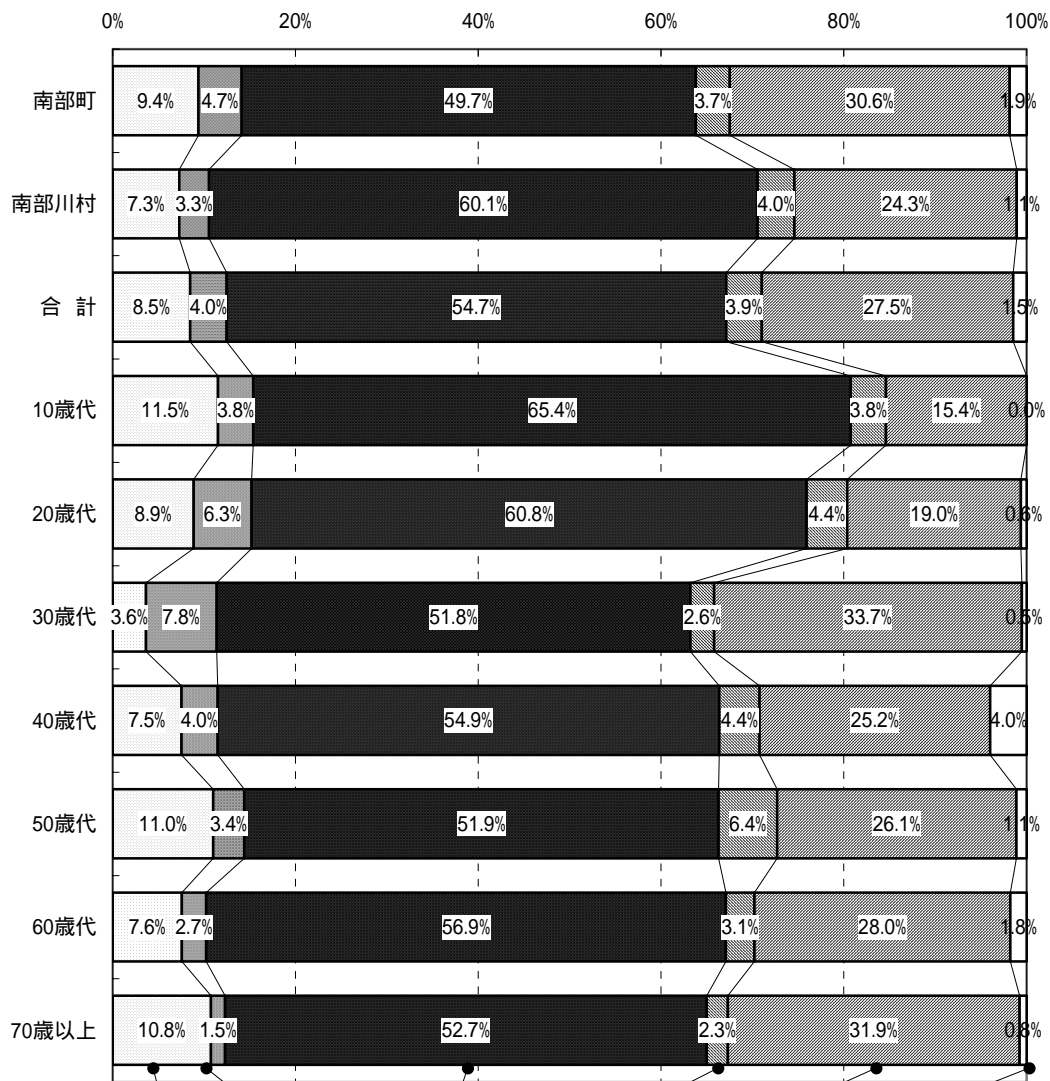
1位 2位 3位

問9 新町の将来イメージについてどのような言葉があてはまると思われますか。

全体、町村別いずれも第1位は「日本一の梅の里」、第2位は「豊かな自然を育むまち」、第3位「小さくてもキラリと光る」と続いている。

町村別に見ると、回答の傾向はよく似ているが、「日本一の梅の里」は南部川村の回答率が高く、「豊かな自然を育むまち」は南部町の回答率が高い。

年代別に見ても、第1位が「日本一の梅の里」、第2位が「豊かな自然を育むまち」で全体の傾向と同様である。特に20歳代は「日本一の梅の里」と答える人が多く、6割を超えている。第3位も30歳代の「快適なコンパクトタウン」を除いて「小さくてもキラリと光る」である。



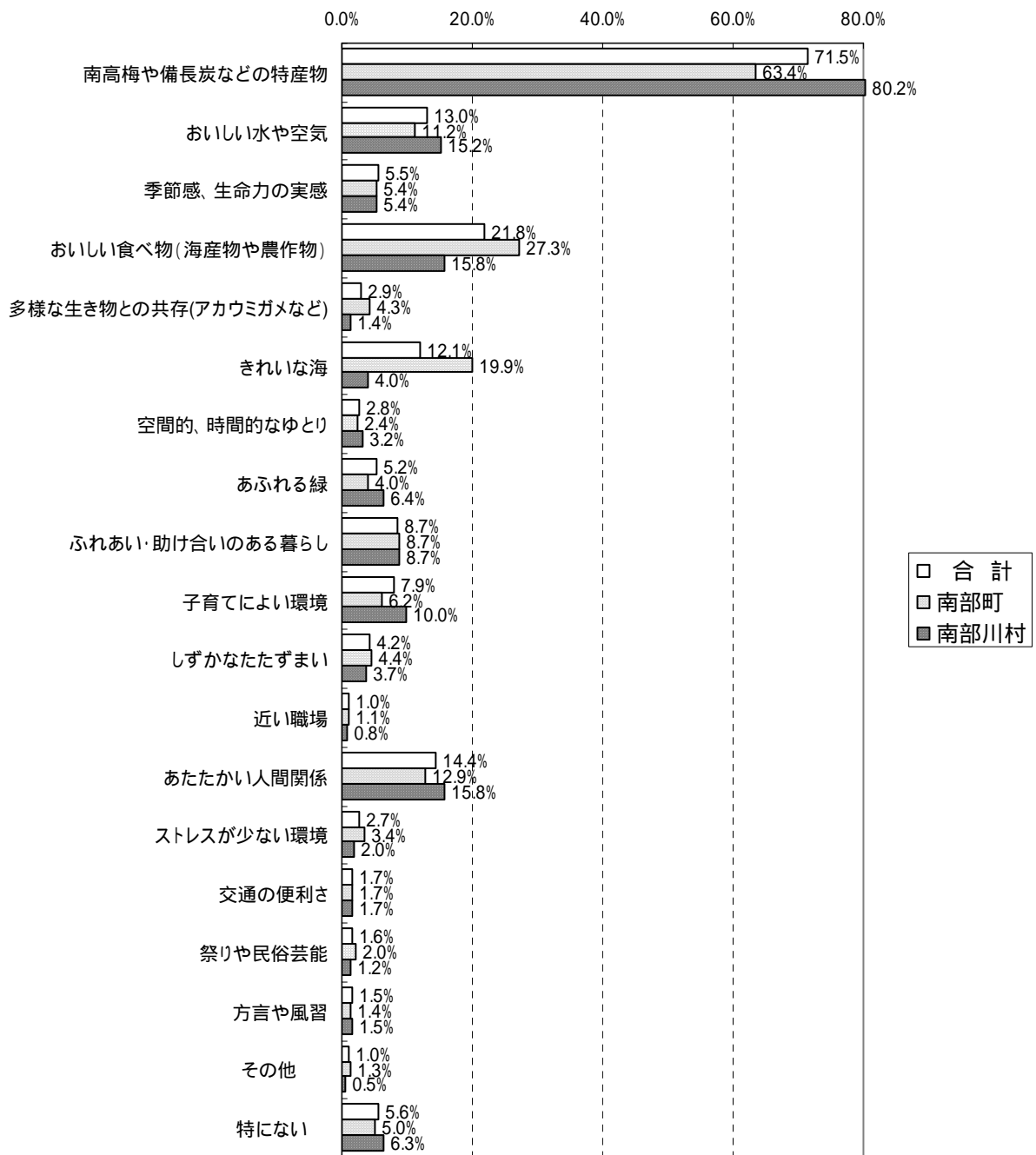
	小さくてもキラリと光る	快適なコンパクトタウン	日本一の梅の里	すみ・はたらき・つどう・ええ塩梅のまち	ゆたかな自然を育むまち・南部郷	その他	回答者数
南部町	9.4%	4.7%	49.7%	3.7%	30.6%	1.9%	702
南部川村	7.3%	3.3%	60.1%	4.0%	24.3%	1.1%	646
合計	8.5%	4.0%	54.7%	3.9%	27.5%	1.5%	1357
10歳代	11.5%	3.8%	65.4%	3.8%	15.4%	0.0%	26
20歳代	8.9%	6.3%	60.8%	4.4%	19.0%	0.6%	158
30歳代	3.6%	7.8%	51.8%	2.6%	33.7%	0.5%	193
40歳代	7.5%	4.0%	54.9%	4.4%	25.2%	4.0%	226
50歳代	11.0%	3.4%	51.9%	6.4%	26.1%	1.1%	264
60歳代	7.6%	2.7%	56.9%	3.1%	28.0%	1.8%	225
70歳以上	10.8%	1.5%	52.7%	2.3%	31.9%	0.8%	260

1位 2位 3位

問 10 合併後の新町についてどのようなことを誇りに思い、自慢しますか。(MA)

全体で最も多い回答は、「南高梅や備長炭などの特産物」で72%を占め突出している。次いで「おいしい食べ物」が22%、「あたたかい人間関係」が14%と続いている。

町村別に見ても「南高梅や備長炭などの特産物」が突出しており第1位である。第2位は町村で差が出ており、南部町は「おいしい食べ物」の27%、南部川村は「おいしい食べ物」「暖かい人間関係」の16%である。また、南部町の第3位は「きれいな海」の20%となっている。



年代別に見ても「南高梅や備長炭などの特産物」が突出している。第2位も70歳以上を除き、「おいしい食べ物」であり、特に40～60歳代の回答率が高い。また、「あたたかい人間関係」は50歳代以上の回答が多く、70歳以上では第2位である。

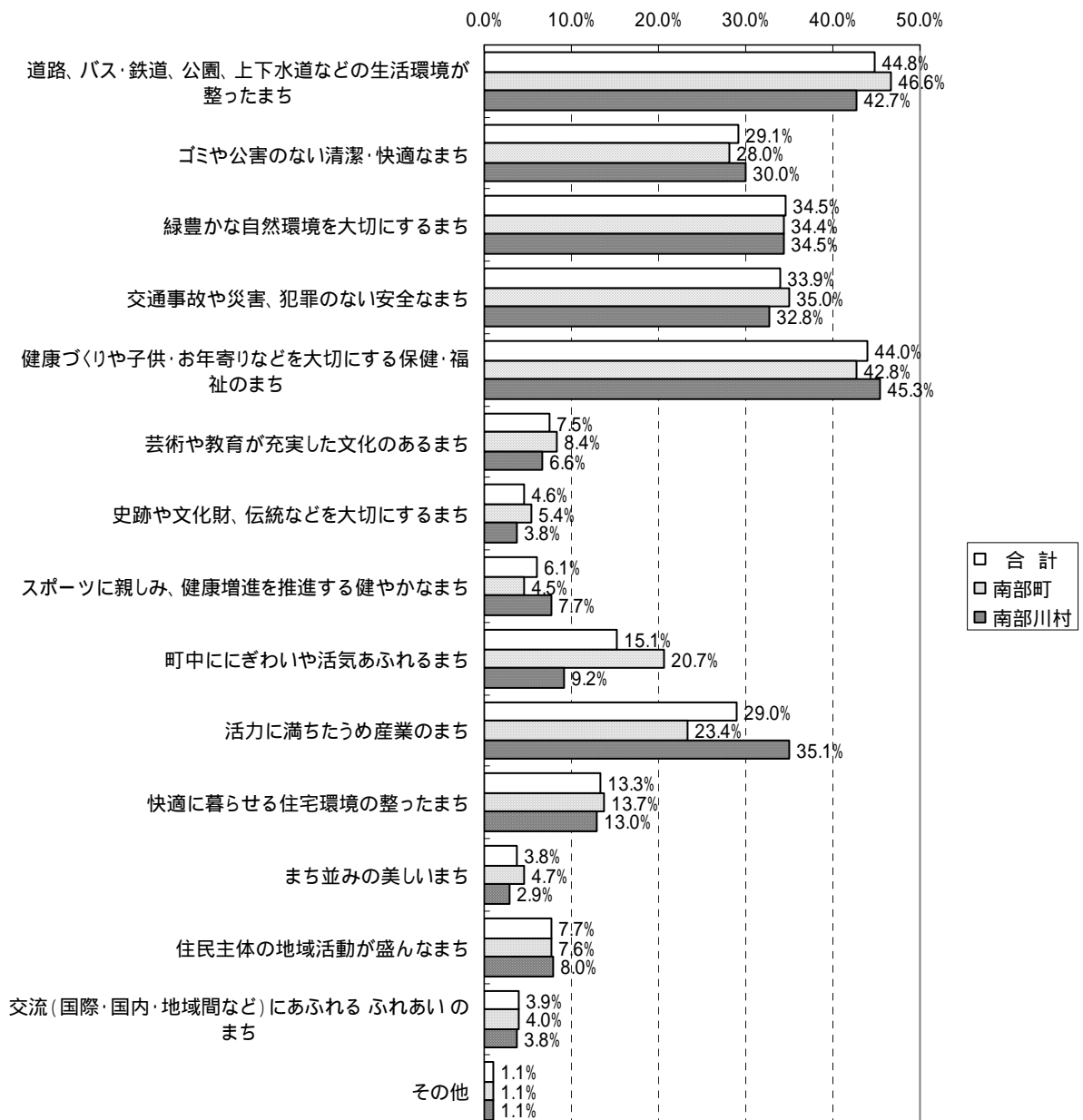
	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
南高梅や備長炭などの特産物	51.9%	78.8%	74.5%	76.4%	68.5%	68.2%	59.6%
おいしい水や空気	22.2%	17.5%	13.3%	10.5%	12.6%	11.2%	11.1%
季節感、生命力の実感	11.1%	5.0%	4.1%	7.4%	5.2%	6.0%	3.9%
おいしい食べ物(海産物や農作物)	3.7%	17.5%	17.9%	24.0%	26.7%	24.5%	16.8%
多様な生き物との共存(アカウミガメなど)	3.7%	4.4%	2.6%	3.1%	3.0%	1.3%	2.9%
きれいな海	22.2%	12.5%	11.2%	16.6%	10.7%	8.2%	11.1%
空間的、時間的なゆとり	3.7%	6.9%	3.6%	3.5%	1.9%	1.3%	1.1%
あふれる緑	11.1%	8.1%	7.7%	3.9%	3.3%	3.9%	4.6%
ふれあい・助け合いのある暮らし	3.7%	8.1%	7.1%	4.4%	10.0%	10.7%	10.0%
子育てにいい環境	11.1%	5.6%	13.8%	13.1%	5.9%	4.3%	4.6%
しずかなたたずまい	0.0%	3.8%	4.1%	3.9%	4.1%	3.9%	5.0%
近い職場	3.7%	0.6%	0.0%	0.4%	1.1%	2.6%	0.4%
あたたかい人間関係	14.8%	7.5%	11.2%	9.6%	15.6%	15.5%	20.0%
ストレスが少ない環境	3.7%	1.3%	3.1%	1.3%	3.0%	3.4%	3.2%
交通の便利さ	0.0%	1.3%	0.5%	1.7%	1.1%	1.3%	3.6%
祭りや民俗芸能	0.0%	2.5%	2.6%	1.7%	1.9%	0.9%	0.7%
方言や風習	3.7%	2.5%	1.0%	2.6%	1.1%	0.9%	0.7%
その他	11.1%	1.3%	0.0%	0.4%	0.4%	2.1%	0.4%
特にない	3.7%	3.8%	3.6%	3.9%	7.8%	5.6%	6.8%
回答者数	27	160	196	229	270	233	280

1位 2位 3位

問 11 まちづくり・人づくりで将来どのようになっていけばよいと思いますか。
(MA)

全体で最も多い回答は、「道路、バス・鉄道、公園、上下水道などの生活環境が整ったまち」で45%、ほとんど同率で「健康づくりや子供・お年寄りなどを大切にする保健・福祉のまち」が続いており、第3位は「緑豊かな自然環境を大切にするまち」の35%となっている。

町村別に見ると、南部町の第1位は「生活環境が整ったまち」、第2位は「保健・福祉のまち」、第3位は「安全なまち」で、南部川村の第1位は「保健・福祉のまち」、第2位は「生活環境が整ったまち」、第3位は「自然環境を大切にするまち」と町村によって順位が入れ替わっているが、回答率に大きな差は見られない。



年代別に見ると、「生活環境が整ったまち」は70歳以上を除いて第1位となっている。その他は、回答率に大きな差はないが順位はばらついている。「保健・福祉のまち」は年代が高いほど回答率が高く、70歳以上では第1位である。「自然環境を大切にすまち」は50歳代以下の比較的若い年代で回答率が高く、「安全なまち」は30歳代と60歳代以上で順位が高い。

	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
道路、バス・鉄道、公園、上下水道などの生活環境が整ったまち	50.0%	46.3%	43.5%	39.3%	43.1%	49.3%	46.7%
ゴミや公害のない清潔・快適なまち	30.8%	28.1%	36.3%	25.8%	26.2%	31.9%	27.2%
緑豊かな自然環境を大切にする	38.5%	40.0%	32.6%	37.6%	36.7%	29.3%	32.2%
交通事故や災害、犯罪のない安全なまち	19.2%	31.3%	37.3%	35.8%	29.2%	31.9%	39.1%
健康づくりや子供・お年寄りなどを大切にする保健・福祉のまち	38.5%	38.1%	41.5%	37.1%	42.7%	48.0%	53.6%
芸術や教育が充実した文化のあるまち	11.5%	7.5%	4.7%	13.1%	7.5%	6.1%	5.7%
史跡や文化財、伝統などを大切にするまち	11.5%	3.8%	4.7%	3.1%	4.5%	3.9%	6.5%
スポーツに親しみ、健康増進を推進する健やかなまち	23.1%	9.4%	9.8%	5.2%	4.5%	3.9%	3.8%
町中ににぎわいや活気あふれる	15.4%	16.9%	14.5%	17.0%	19.1%	11.8%	11.9%
活気に満ちたうめ産業のまち	19.2%	20.0%	29.0%	34.9%	33.7%	31.9%	23.4%
快適に暮らせる住宅環境の整ったまち	15.4%	19.4%	13.5%	13.1%	13.1%	10.0%	12.6%
まち並みの美しいまち	15.4%	6.9%	9.3%	2.6%	3.0%	1.3%	0.8%
住民主体の地域活動が盛んなまち	0.0%	8.1%	7.3%	8.3%	9.0%	7.4%	7.3%
交流(国際・国内・地域間など)にあふれるふれあいのまち	3.8%	4.4%	2.6%	7.0%	4.5%	2.6%	2.3%
その他	0.0%	1.9%	1.0%	1.3%	0.7%	1.3%	0.8%
回答者数	26	160	193	229	267	229	261

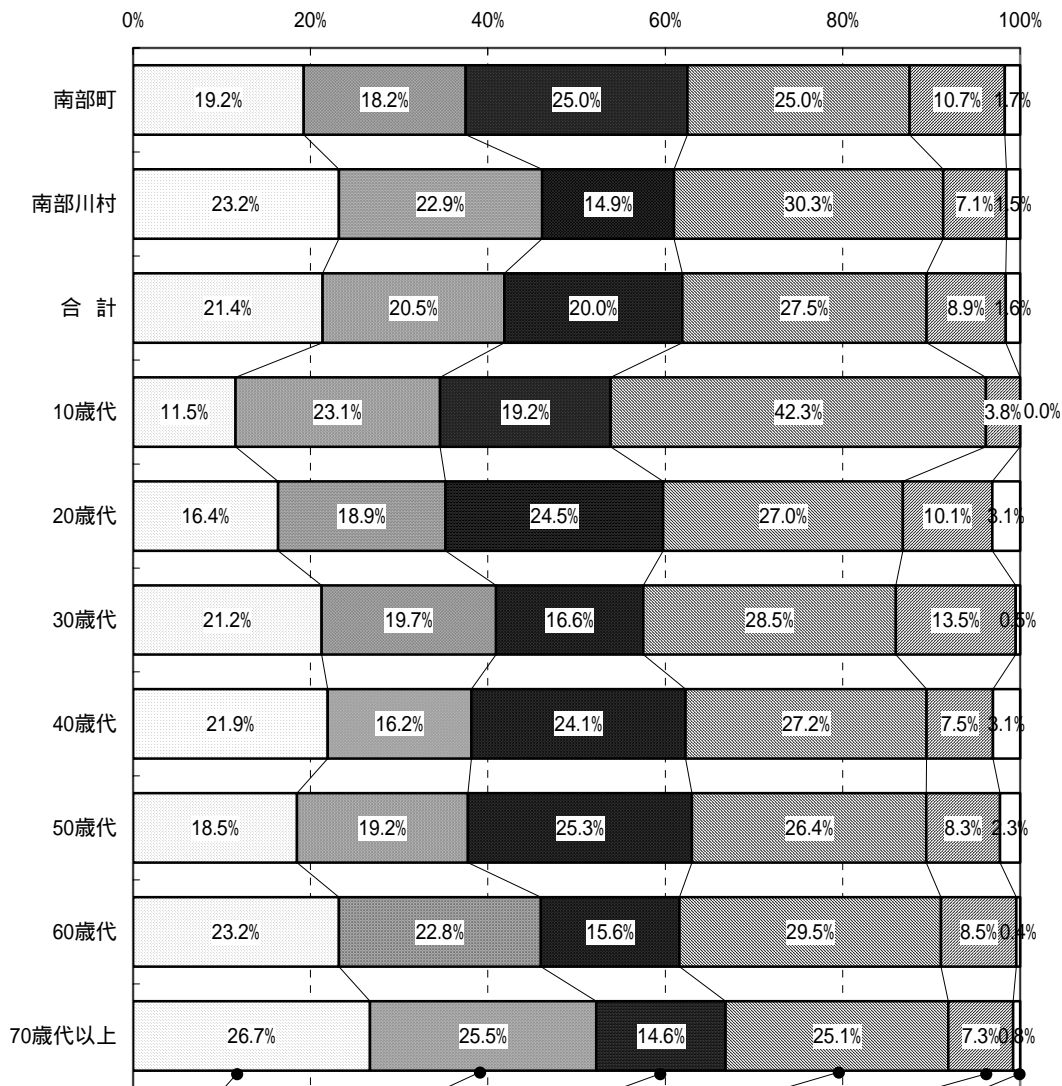
1位 2位 3位

問 12 (1) うめ産業は今後どのように進んでいくべきだと思いますか。

全体で最も多い回答は、「これまでの産業のスタイルを変えず堅実にブランドを守る」で 28%を占めている。次いで「生産主体から加工・販売まで一貫して取り組めるようにする」、「品種改良など基礎的な研究を進めて高品質化、増産など生産能力を高める」がほとんど同率（21%）で続いている。第 4 位の「梅を活用した健康産業やうめグルメ旅といった観光産業など多角的に展開する」まで、回答率に大きな差は見られない。

町村別に見ると、南部川村は「堅実にブランドを守る」、南部町は「多角的に展開する」の回答率が高いという違いが見られる。

年代別に見ると、70 歳以上を除く全ての年代で「堅実にブランドを守る」が第 1 位であり、70 歳以上のみ「加工・販売まで一貫して」が第 1 位となっている。第 2 位以下は回答率に大きな差はないが年代によってばらついており、20、40、50 歳代では「多角的に展開する」が第 2 位、30、60 歳代では「加工・販売まで一貫して」が第 2 位である。



	生産主体から加工・販売まで一貫して取り組めるようにする	品種改良など基礎的な研究を進めて高品質化、増産など生産能力を高める	梅を活用した健康産業やうめグルメ旅といった観光産業など多角的に展開する	これまでの産業のスタイルを変えず確実にブランドを守る	梅以外の新たな産業を誘致又は起業する	その他	回答者数
南部町	19.2%	18.2%	25.0%	25.0%	10.7%	1.7%	691
南部川村	23.2%	22.9%	14.9%	30.3%	7.1%	1.5%	646
合計	21.4%	20.5%	20.0%	27.5%	8.9%	1.6%	1347
10歳代	11.5%	23.1%	19.2%	42.3%	3.8%	0.0%	26
20歳代	16.4%	18.9%	24.5%	27.0%	10.1%	3.1%	159
30歳代	21.2%	19.7%	16.6%	28.5%	13.5%	0.5%	193
40歳代	21.9%	16.2%	24.1%	27.2%	7.5%	3.1%	228
50歳代	18.5%	19.2%	25.3%	26.4%	8.3%	2.3%	265
60歳代	23.2%	22.8%	15.6%	29.5%	8.5%	0.4%	224
70歳代以上	26.7%	25.5%	14.6%	25.1%	7.3%	0.8%	247

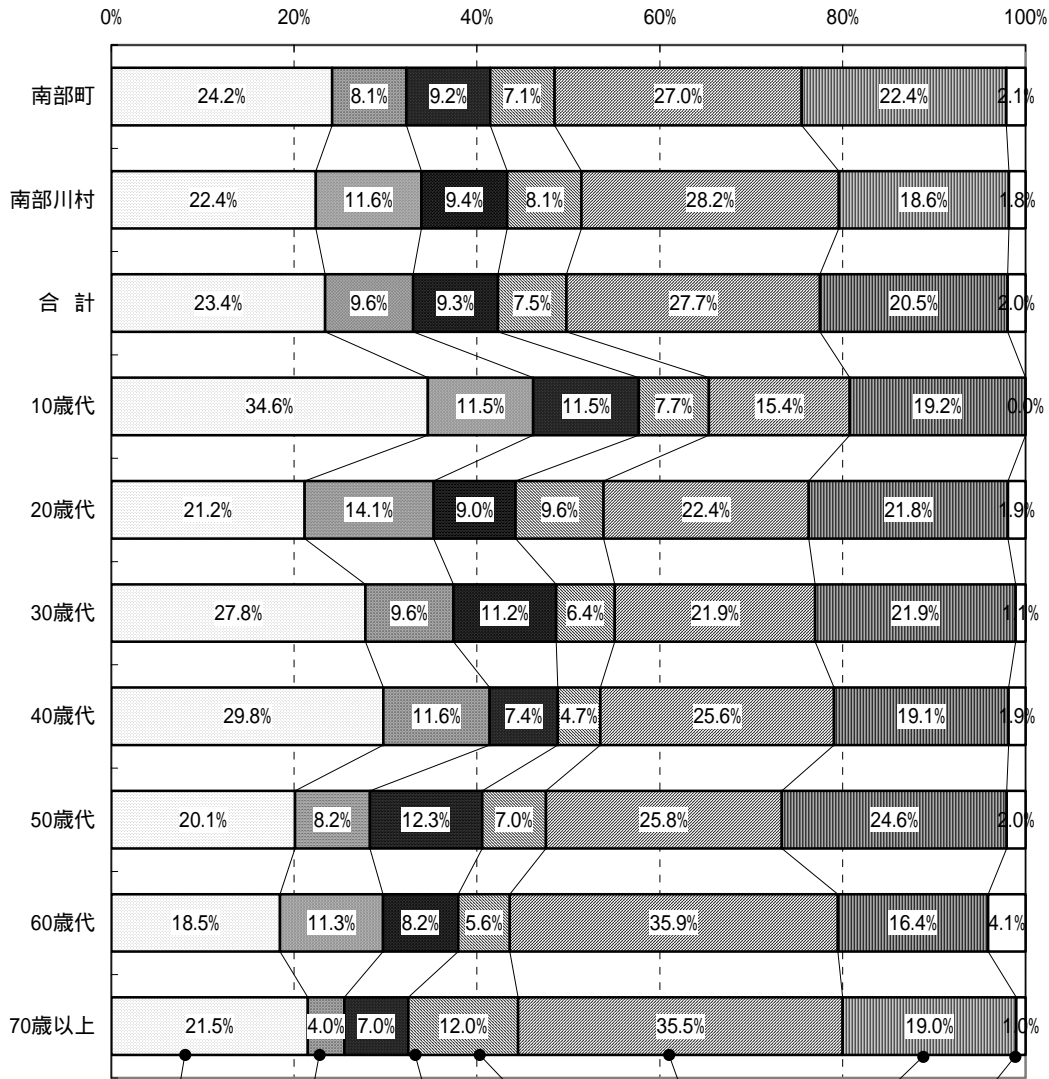
1位 2位 3位

問 12 (2) 漁業は今後どのように進んでいくべきだと思いますか。

全体で最も多い回答は、「水産物の加工、特産品の開発、南部ブランドを確立する」で 28%を占めている。次いで「漁場整備（築磯など）による水産資源の回復など漁業操業環境の向上を図る」が 23%、「海を活用した、観光・交流、体験、ふれあいなどを創造する新たな産業を創出する」が 21%と続いており、第 3 位までは回答率にあまり大きな差は見られない。

町村別の差はほとんどない。

年代別にみると若干違いが見られ、30、40 歳代は「漁業操業環境の向上」、50 歳代以上は「南部ブランドを確立」を重要と考えていることが伺える。また、全体的には第 1～3 位まで回答率に大きな差は見られないなかで、60 歳代以上の「南部ブランドを確立」の回答率は比較的高い。



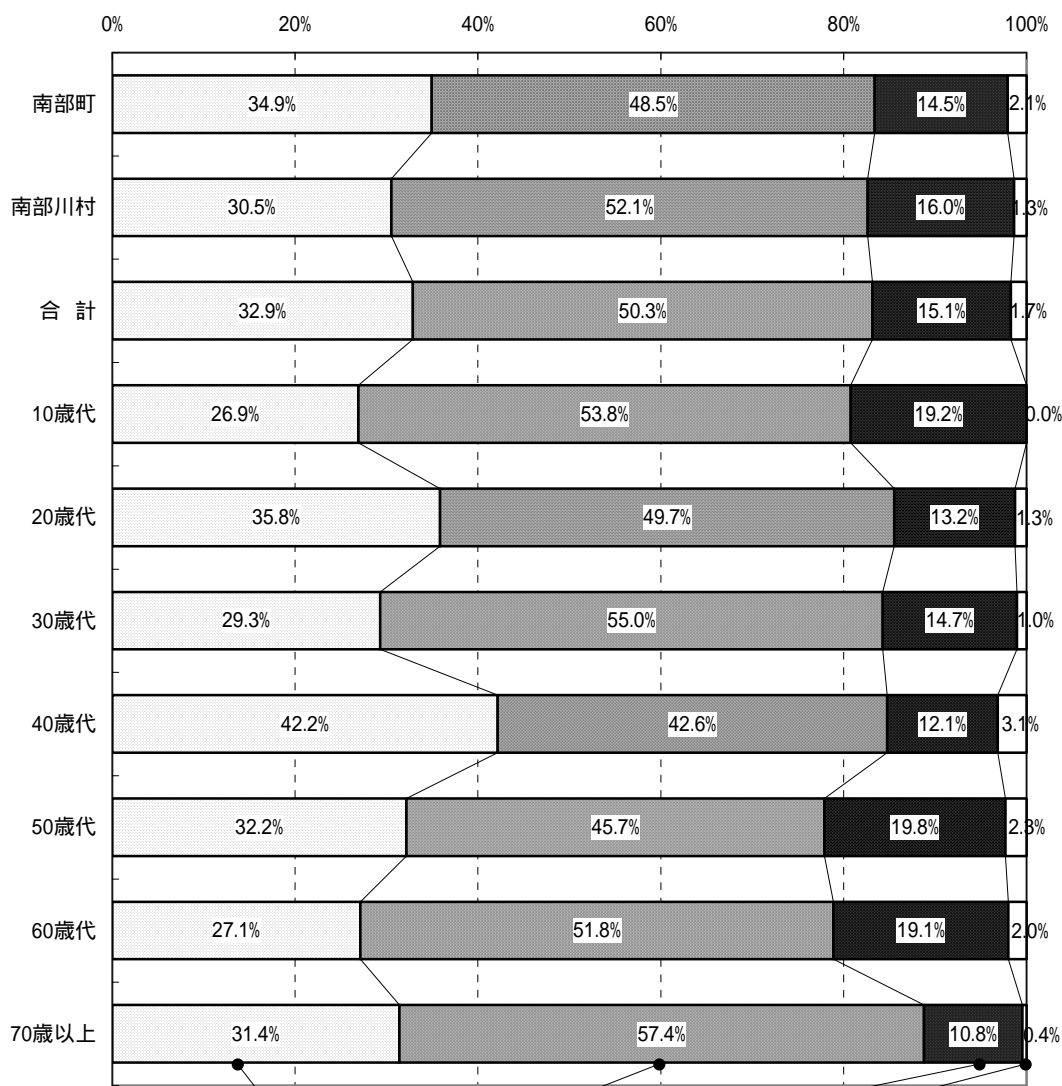
	漁場整備(築 磯など)によ る水産資源の 回復など漁業 操業環境の 向上を図る	市場の拡充 や仲買業者と の連携強化な ど、流通・販 売体制の強 化する	消費地と産地 情報の相互 伝達ができる 集出荷情報 ネットワーク の構築する	経営感覚に 優れた担い手 や新規従事 者、女性及び 高齢者など多 様な担い手を 育成する	水産物の加 工、特産品の 開発、南部ブ ランドを確立 する	海を活用し た、観光・交 流、体験、ふ れあいなどを 創造する新た な産業を創出 する	その他	回答者数
南部町	24.2%	8.1%	9.2%	7.1%	27.0%	22.4%	2.1%	666
南部川村	22.4%	11.6%	9.4%	8.1%	28.2%	18.6%	1.8%	554
合計	23.4%	9.6%	9.3%	7.5%	27.7%	20.5%	2.0%	1,227
10歳代	34.6%	11.5%	11.5%	7.7%	15.4%	19.2%	0.0%	26
20歳代	21.2%	14.1%	9.0%	9.6%	22.4%	21.8%	1.9%	156
30歳代	27.8%	9.6%	11.2%	6.4%	21.9%	21.9%	1.1%	187
40歳代	29.8%	11.6%	7.4%	4.7%	25.6%	19.1%	1.9%	215
50歳代	20.1%	8.2%	12.3%	7.0%	25.8%	24.6%	2.0%	244
60歳代	18.5%	11.3%	8.2%	5.6%	35.9%	16.4%	4.1%	195
70歳以上	21.5%	4.0%	7.0%	12.0%	35.5%	19.0%	1.0%	200

1位 2位 3位

問 12 (3) 商業は今後どのように進んでいくべきだと思いますか。

全体、町村別、年代別の全てで第 1 位「商店街の環境改善などにより消費者の利便性の向上をはかる」、第 2 位「既存商店の特色化と連携やサービス向上による魅力化・活性化を図る」、第 3 位「一次産業との連携による特産品開発やブランド製品の販売を促進する」となっている。

しかし、40 歳代は「既存商店の特色化」の割合が高く、「商店街の環境改善」と同等に重要であるとしている。



	既存商店の 特色化と連携 やサービス向 上による魅力 化・活性化を 図る	商店街の環 境改善など により消費者 の利便性の向 上をはかる	一次産業との 連携による特 産品開発やブ ランド製品の 販売を促進す る	その他	回答者数
南部町	34.9%	48.5%	14.5%	2.1%	681
南部川村	30.5%	52.1%	16.0%	1.3%	593
合計	32.9%	50.3%	15.1%	1.7%	1,283
10歳代	26.9%	53.8%	19.2%	0.0%	26
20歳代	35.8%	49.7%	13.2%	1.3%	159
30歳代	29.3%	55.0%	14.7%	1.0%	191
40歳代	42.2%	42.6%	12.1%	3.1%	223
50歳代	32.2%	45.7%	19.8%	2.3%	258
60歳代	27.1%	51.8%	19.1%	2.0%	199
70歳以上	31.4%	57.4%	10.8%	0.4%	223

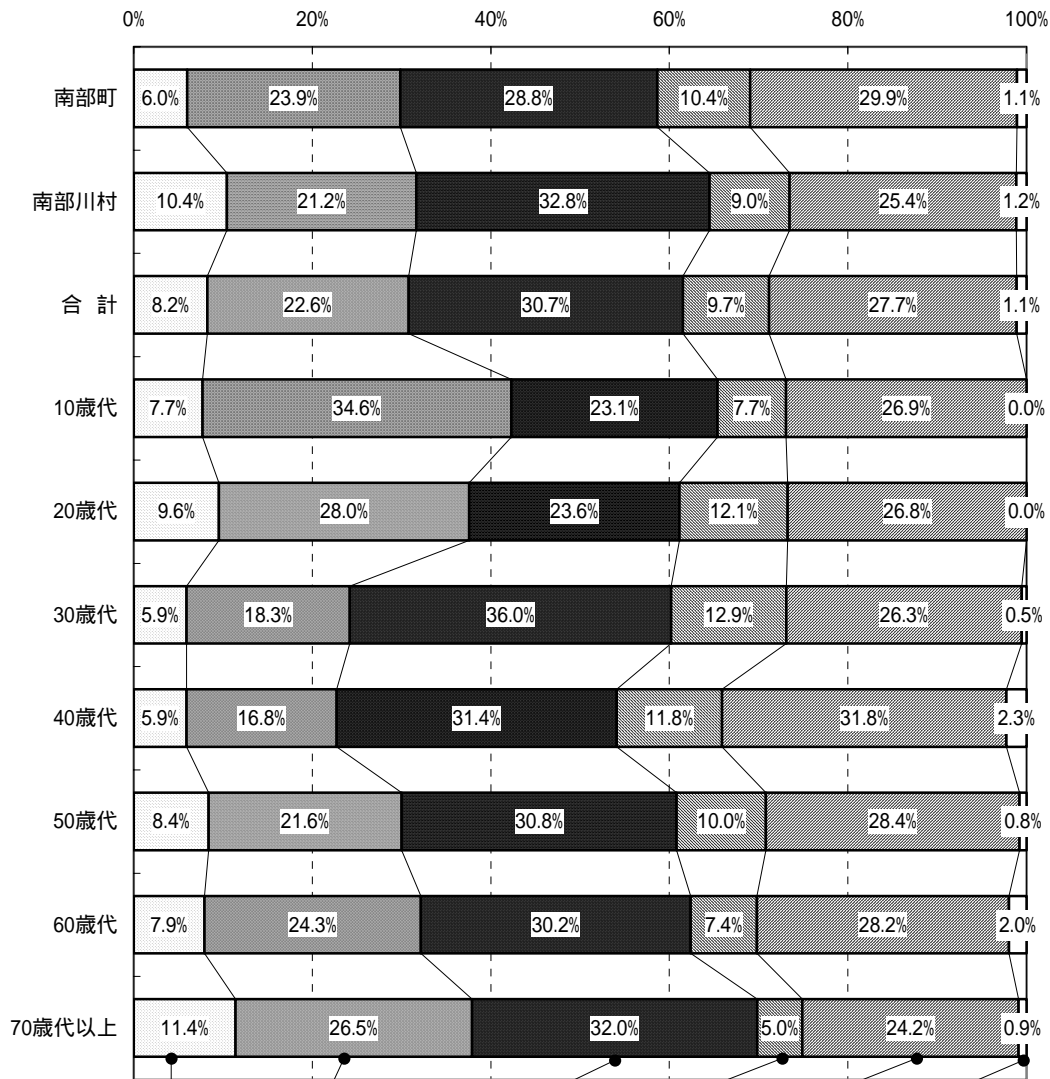
1位 2位 3位

問 12 (4) 林業は今後どのように進んでいくべきだと思いますか。

全体で最も多い回答は、「備長炭や林産物などの市場拡充や、流通・販売体制の強化を図る」で 31%を占めており、次いで「環境保護のため保全を図る」が 28%、第 3 位が「植林・間伐等による資源再生を図る」で 23%となっている。

町村別に見ると、第 1 位と第 2 位が入れ替わり、南部町は「環境保護のため保全」、南部川村は「備長炭や林産物などの市場拡充」を重要としているが、回答率に大きな差は見られない。

年代別ではばらついており、20 歳代は「資源再生」、30 歳代及び 50 歳代以上は「備長炭や林産物などの市場拡充」、40 歳代は「環境保護のため保全」が第 1 位である。ただし、町村別と同様に回答率に大きな差は見られない。



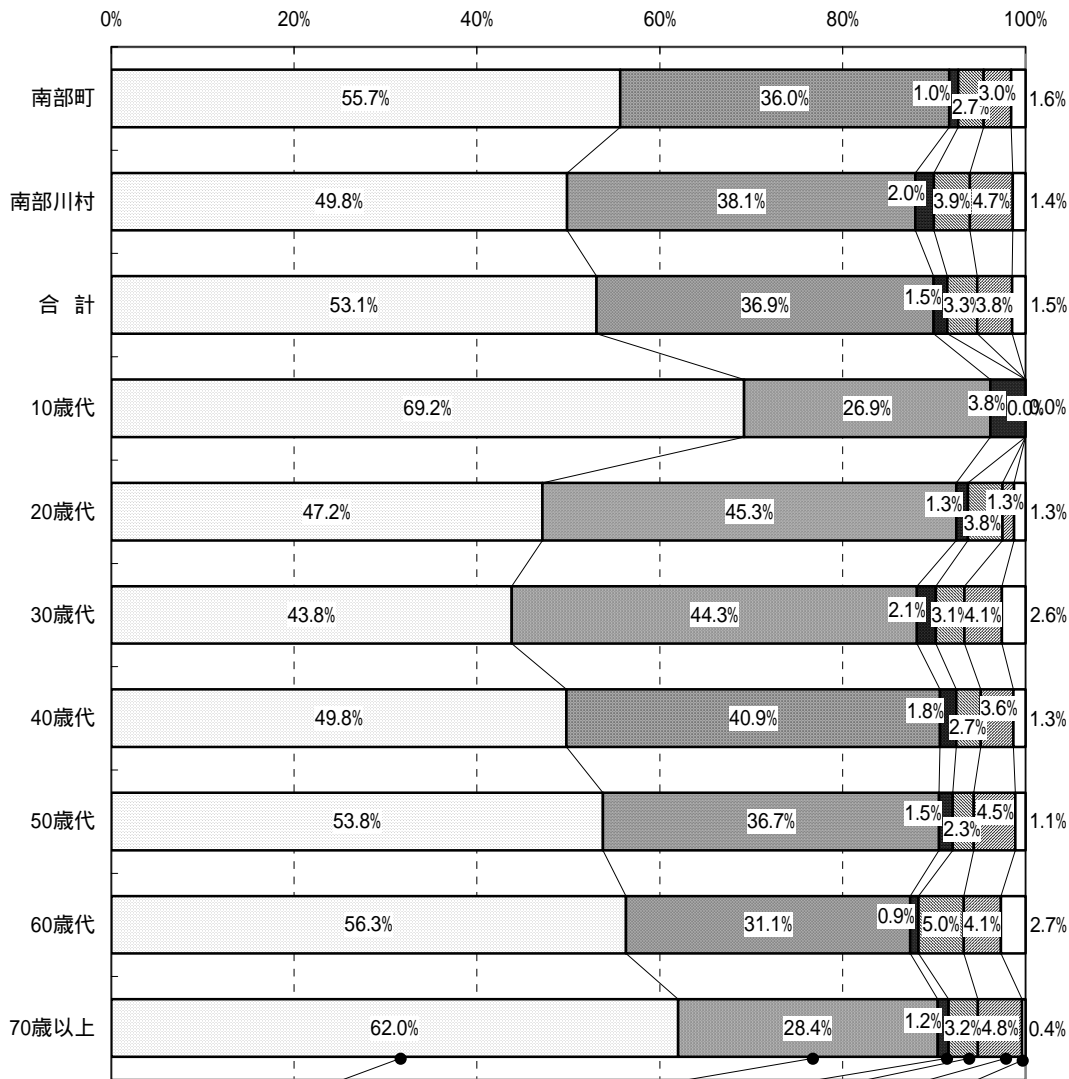
	林道整備や機械化など作業効率性の向上を図る	植林・間伐等による資源再生を図る	備長炭や林産物などの市場拡充や、流通・販売体制の強化を図る	バイオマス(森林活用新エネルギー)、エコツアー(環境観光)など新たな資源活用を図る	環境保護のため保全を図る	その他	回答者数
南部町	6.0%	23.9%	28.8%	10.4%	29.9%	1.1%	653
南部川村	10.4%	21.2%	32.8%	9.0%	25.4%	1.2%	603
合計	8.2%	22.6%	30.7%	9.7%	27.7%	1.1%	1263
10歳代	7.7%	34.6%	23.1%	7.7%	26.9%	0.0%	26
20歳代	9.6%	28.0%	23.6%	12.1%	26.8%	0.0%	157
30歳代	5.9%	18.3%	36.0%	12.9%	26.3%	0.5%	186
40歳代	5.9%	16.8%	31.4%	11.8%	31.8%	2.3%	220
50歳代	8.4%	21.6%	30.8%	10.0%	28.4%	0.8%	250
60歳代	7.9%	24.3%	30.2%	7.4%	28.2%	2.0%	202
70歳代以上	11.4%	26.5%	32.0%	5.0%	24.2%	0.9%	219

1位 2位 3位

問 13 豊かな自然環境を守っていくためには、どうしたらよいと思いますか。

全体、町村別、年代別のほとんどで第1位「海・山・川の豊かな自然環境の保全を官民協働で進めていく」、第2位「し尿、ごみ対策、下水道整備を積極的に進めていく」となっている。30歳代のみ第1位と第2位が逆転しているが、回答率はほとんど同じである。第3位はばらついているが、いずれも5%以下の少数意見である。

年代別に見ると、「自然環境の保全を官民協働で進めていく」は年代が高いほど回答率が高くなる傾向にある。



	海・山・川の豊かな自然環境の保全を官民協働で進めていく	し尿、ごみ対策、下水道整備を積極的に進めていく	観光やレクリエーション客をなるべく抑制する	住宅や工場などの宅地造成を制限する	特別な対策は必要ない	その他	回答者数
南部町	55.7%	36.0%	1.0%	2.7%	3.0%	1.6%	695
南部川村	49.8%	38.1%	2.0%	3.9%	4.7%	1.4%	640
合計	53.1%	36.9%	1.5%	3.3%	3.8%	1.5%	1,345
10歳代	69.2%	26.9%	3.8%	0.0%	0.0%	0.0%	26
20歳代	47.2%	45.3%	1.3%	3.8%	1.3%	1.3%	159
30歳代	43.8%	44.3%	2.1%	3.1%	4.1%	2.6%	194
40歳代	49.8%	40.9%	1.8%	2.7%	3.6%	1.3%	225
50歳代	53.8%	36.7%	1.5%	2.3%	4.5%	1.1%	264
60歳代	56.3%	31.1%	0.9%	5.0%	4.1%	2.7%	222
70歳以上	62.0%	28.4%	1.2%	3.2%	4.8%	0.4%	250

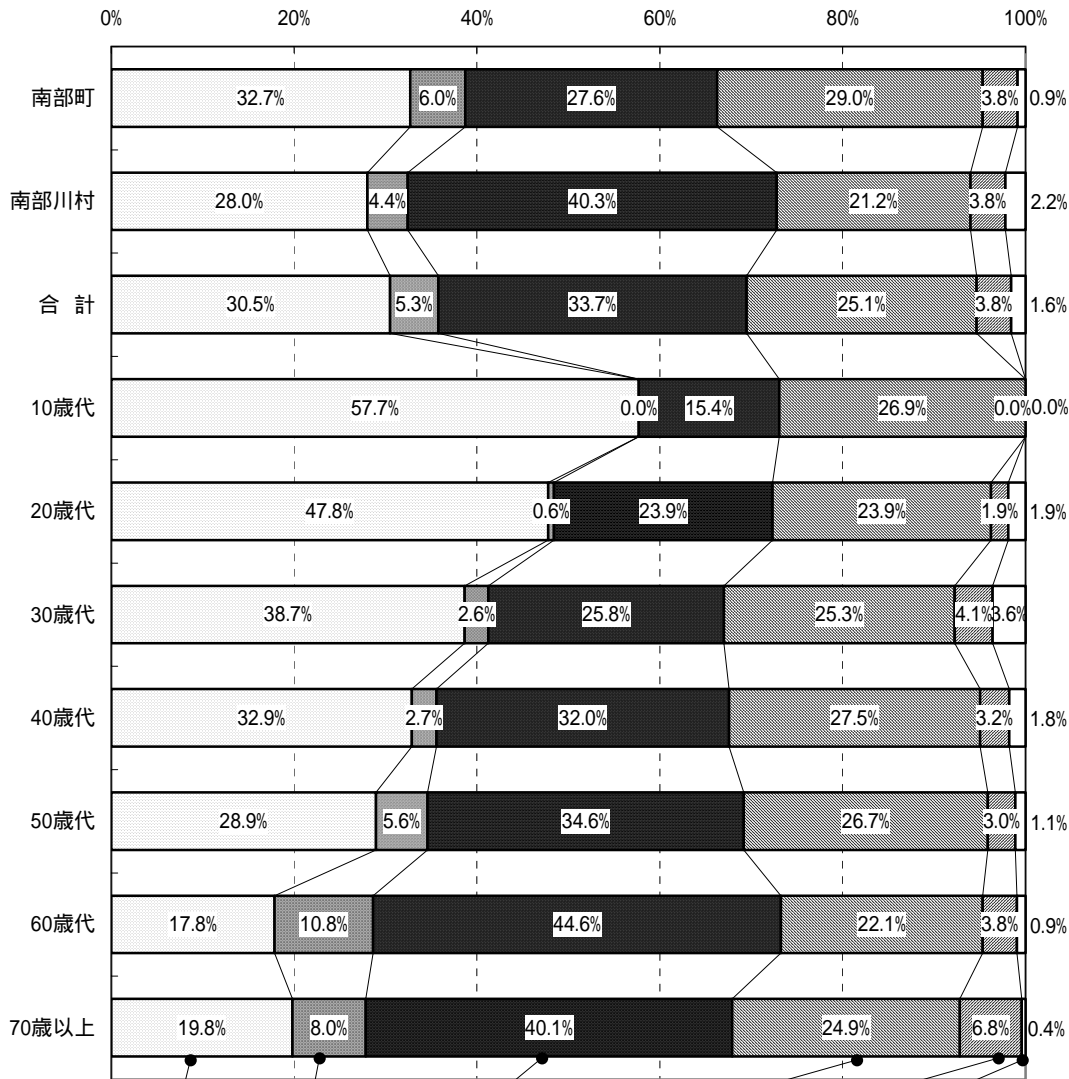
1位 2位 3位

問 14 インターチェンジ周辺は、どのような土地利用を図るべきだと思いますか。

全体で最も多い回答は、「現状の土地利用を保全し、優良農地として活用する」で34%を占めており、次いで「商業地域として土地利用を図る」が31%、第3位が「緑地ゾーンとする」で25%となっており、回答率の差は大きくない。

町村別に見ると、上位3位は同じであるが、南部町は「商業地域」「緑地」「優良農地」、南部川村は「優良農地」「商業」「緑地」と順位は異なる。

年代別に見ると、年代が低いほど「商業」が高く、年代が高いほど「優良農地」が高くなる傾向が伺える。



	商業地域として土地利用を図る	工業地域として土地利用を図る	現状の土地利用を保全し、優良農地として活用する	緑地ゾーンとする	住宅地として利用する	その他	回答者数
南部町	32.7%	6.0%	27.6%	29.0%	3.8%	0.9%	682
南部川村	28.0%	4.4%	40.3%	21.2%	3.8%	2.2%	632
合計	30.5%	5.3%	33.7%	25.1%	3.8%	1.6%	1,322
10歳代	57.7%	0.0%	15.4%	26.9%	0.0%	0.0%	26
20歳代	47.8%	0.6%	23.9%	23.9%	1.9%	1.9%	159
30歳代	38.7%	2.6%	25.8%	25.3%	4.1%	3.6%	194
40歳代	32.9%	2.7%	32.0%	27.5%	3.2%	1.8%	222
50歳代	28.9%	5.6%	34.6%	26.7%	3.0%	1.1%	266
60歳代	17.8%	10.8%	44.6%	22.1%	3.8%	0.9%	213
70歳以上	19.8%	8.0%	40.1%	24.9%	6.8%	0.4%	237

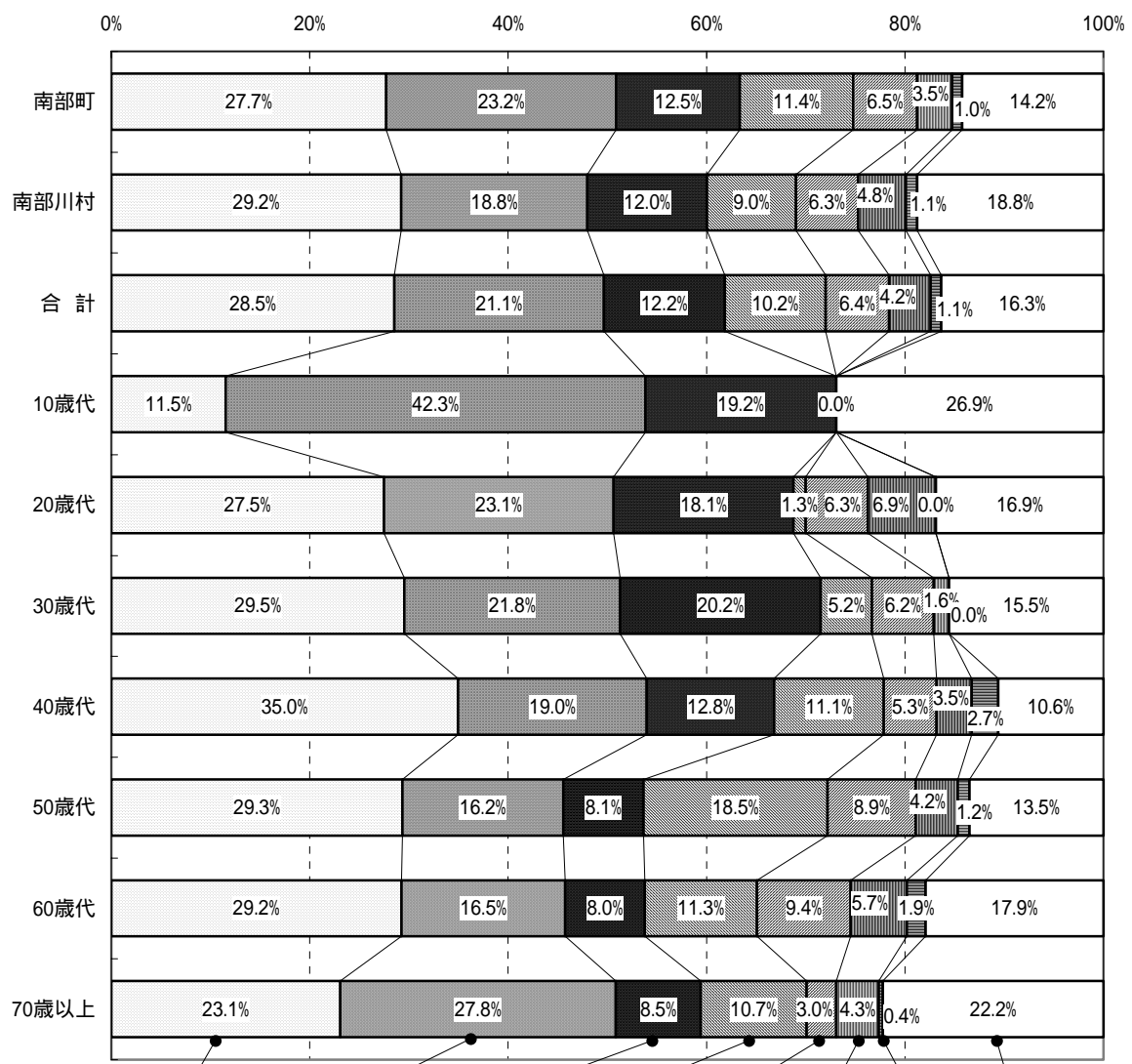
1位 2位 3位

問 15 これからまちづくりにどのようにかかわりたいと思いますか。

全体で最も多い回答は、「広報誌やパンフレット、インターネットなどでまちづくりの動きを知る」で 29%、続いて「アンケートなどに回答する」が 21%、第 3 位が「わからない」で 16%となっている。

町村別に見ると、大きな差は見られないが、南部川村で「わからない」が多い。

年代別に見ると、「広報誌やパンフレットでまちづくりの動きを知る」が 70 歳以上を除いて第 1 位である。70 歳以上は「アンケートに回答する」が第 1 位であるほか、50 歳代で「まちづくりに関する出前講座やフォーラムなどがあれば出かけて意見を聞く」が第 2 位であり、他の年代と比べて違いが出ている。



	広報誌やパンフレット、インターネットなどでまちづくりの動きを知る	アンケートなどに回答する	地域のまつりや運動会などのイベントに出かける	まちづくりに関する出前講座やフォーラムなどがあれば出かけて意見を聞く	まちづくりに関するグループなどに加わり、積極的に活動する	とくにまちづくりに関わりたくない	その他	わからない	回答者数
南部町	27.7%	23.2%	12.5%	11.4%	6.5%	3.5%	1.0%	14.2%	682
南部川村	29.2%	18.8%	12.0%	9.0%	6.3%	4.8%	1.1%	18.8%	623
合計	28.5%	21.1%	12.2%	10.2%	6.4%	4.2%	1.1%	16.3%	1,315
10歳代	11.5%	42.3%	19.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	26.9%	26
20歳代	27.5%	23.1%	18.1%	1.3%	6.3%	6.9%	0.0%	16.9%	160
30歳代	29.5%	21.8%	20.2%	5.2%	6.2%	1.6%	0.0%	15.5%	193
40歳代	35.0%	19.0%	12.8%	11.1%	5.3%	3.5%	2.7%	10.6%	226
50歳代	29.3%	16.2%	8.1%	18.5%	8.9%	4.2%	1.2%	13.5%	259
60歳代	29.2%	16.5%	8.0%	11.3%	9.4%	5.7%	1.9%	17.9%	212
70歳以上	23.1%	27.8%	8.5%	10.7%	3.0%	4.3%	0.4%	22.2%	234

1位 2位 3位